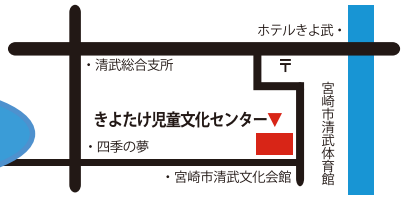
令和７年２月１日発行

「すずしろ」は大根の事。春の七草の一つです。漢字で「清白」と書きます。清武の清と名物千切り大根で有名な町にちなんで名付けられました。

宮崎市きよたけ児童文化センター

2025 すずしろ SUZUSHIRO No.429



◎子どもたちの風景を写真にとって広報誌で使用する場合がありますのでご了承ください。

12/15日 ネコのにくきゅう箸置きとメタルメダル作り

主催：特定非営利活動法人みやざき子ども文化センター

金属（錫（すず））をとかして砂などで作った型に流し込んで作品を作ります。これを『鋳造（ちゅうぞう）』と言うよ！

溶けた金属…気をつけながら流していきますドキドキ…

ちゃんと冷えてるね！丁寧に型から取りだすよ

完成！キレイにできた～！！

12/22日 親子でしめ縄作り ジャーン！

お正月前にそれぞれの家に飾るしめ縄ができました！

まずは、ワラをたたくところから…親子で力を合わせて、しめ縄の由来なども教えてもらって本格的なしめ縄が完成しました！

12/12木 カラペハリエ

好きなものをハリエしよう！

絵の具で色付けしたり、色んな模様を描いた紙を組み合わせて作品作り！

テレビ取材も入る中、みんな夢中で取り組みました！

宮崎県青年国際交流機構作品展示

この本オススメ

しっぱいなんかこわくない！

作・アンドレア-ベイティー
絵・デイヴィッド-ロバーツ
訳・かとう りつこ
発行元・㈱絵本塾出版

ロージーは せかいいちのエンジニアになりたいおんなのこ。これまでもたくさんのユニークなメカをつくってきたのですが…

■#館長Tweet■ 思い出の本との再会

きよたけ児童文化センターが開館したのは昭和63年（1988年）、約37年前です。そして現在、当館図書室には約2万4千冊の児童書を中心とした蔵書があります。その本の中には開館当時から所蔵されている本もあり、私が小学生だったころに読んだ本を見つけると懐かしく思い、我が子にも読んでほしいな～と、ついつい借りてしまいます。

そんな私の思い出の一冊を紹介します。1980年（私の生まれた年！）旺文社発行・中村ただし著「生きるんだ ポンちゃん」です。瀕死の野生のタヌキを助けて再び野に帰した実際のお話が書かれた小学低学年向けの本です。学級文庫にあったこの本を何度も読んで、うるうるしたことを大人になった今でも心の片隅に残っています。この本をご存じの親御さんもいらっしゃるのではないでしょうか。amazonで検索してみたらもう絶版でしたが、レビューをみてみると感動的なコメントがあって再びうるっときました。

開館当初から残っていてくたびれた本もありますが、子供の頃に読んだ本をお子さまにおすすめされてみるのはいかがでしょうか。